

生活単元学習 指導案

日 時：平成27年11月17日（火）
授 業 者：谷 麻紗美

1. 単元名 「校内販売を成功させよう」

2. 単元について

本学級は平成27年度より設置された特別支援学級（知的）である。現在、1年生の男子3名が在籍しており、障害の程度はさまざまであるが、3名とも他者と関わることが大好きで、他の先生方の顔と名前を覚えて自分からあいさつをしたり話しかけたりできるようになってきた。

本単元は、10月31日（土）に実施したバザーの活動から継続しているものである。バザーでは、牛乳パックペン立て・手作り石けん・さつまいも・ポットの花苗など、日頃生徒たちが作業学習の中で作り上げた製品を販売した。しかし、校内の先生方への販売はできなかったため、引き続き製品づくりをし、校内販売を行おうとするものである。（校内販売の日・方法は調整中である）

自分の仕事には責任をもって最後まで

牛乳パック解体・部品づくり・仕上げ・袋詰め・値札つけの工程を生徒たちの理解度や意見を取り入れながら分担を決めた。安全に気をつけて環境を整えたり、補助具を使用することで作業に集中する姿がみられるようになってきた。

「販売する」喜びを感じることができるよう

製品を作ることで終わるのではなく、誰かに「手に取っていただく」「購入していただく」喜びを感じることができるよう、製品・代金の受け渡しの練習を事前に行ったり、宣伝ポスターを作ったりする。また校内の先生方に「欲しい」と思ってもらえるような製品づくりをするために、デザインや製品の作り方を学級で相談し決定した。

なお、キャリア教育の視点で本単元の目標をとらえることで、単元の展開を通して、生徒たちの「生きる力」の育成も意識して、適切な支援に取り組んでいきたいと考えている。

3. 単元の目標

- ・自分の仕事に責任をもって取り組み、よりよい製品づくりを行うことができる。
(自己理解・自己管理能力)
- ・製品の目標数を決め、仲間と協力をして製品づくりを行うことができる。
(人間関係形成・社会形成能力)
- ・当日は販売や宣伝を積極的に行うことができる。
(課題解決能力) (キャリアプランニング能力) (人間関係形成・社会形成能力)

4. 指導計画（12時間計画）

	日時	内容			
1	11/10（火）	目標数決め	牛乳パックカット	組み立て	仕上げ
2	11/11（水）				
3	11/12（木）				
4	11/16（月）				
5	11/17（火）				←本時
6	11/18（水）				
7	11/19（木）				
8	11/20（金）	製品数確認			値札つけ 販売練習
9	11/24（火）		↓		↓ ↓ ↓ ↓ ↓
10	11/25（水）			↓	↓ ↓ ↓ ↓ ↓
11	11/26（木）	製品数確認			↓ ↓ ↓ ↓ ↓
12	11/27（金）	校内販売当日(予定)			

5. 本時の指導

（1）本時の目標

- ・「校内販売」に向けて、ひとりひとりが自分の仕事に責任をもって、目標数の製品づくりを行うことができる。

（2）本時の展開

時配	生徒の活動	指導上の留意点	備考
10	○はじめのあいさつを行う。（日直） ・自分の仕事確認・前日までの製品数の確認	・話をしている人の方を向いて話を聞くように声をかける。	日程表 担当表
30	○各担当の作業を行う ＜牛乳パックカット＞A 生徒 ＜組み立て＞B 生徒 ＜仕上げ＞C 生徒	・かごに使う道具を準備しておく。 ・机上に道具をセットしてから作業を行うように声をかける。 ・1日の目標数がかかるようにかごの中に牛乳パックをセットしておく。 ・1日の目標数がかかるようにかごの中にカットした牛乳パックをセットしておく。 ・1日の目標数がかかるように牛乳パックをセットしておく。 ・完成品は教師が確認し、合格したら次の製品づくりにとりかかる。	牛乳パック スライトカッター セロハンテープ かご 和紙

10	○まとめと片付け ・今日の出来高を確認する (製品数を数えて出来高表にチェックをする。)	・今日の出来高がわかりやすいように 作業台に完成品を並べる。	日程表 出来高表
----	--	-----------------------------------	-------------

(3) 生徒の実態

	生徒の実態	本時の目標	手だて
A	<ul style="list-style-type: none"> ・まわりの音や声が気になってしまい、離席したり、活動が止まることもある。 ・声の大きさの調整が難しく、場に応じた声の大きさを話すことが難しい。 ・見通しをもつことができると自信をもって活動に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集中して時間いっぱい分担の活動に取り組むことができる。 ・1日の目標数の活動を終わることができる。 ・「校内販売」に向けてひとりひとりが自分の仕事に責任をもって目標数の製品づくりを行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まわりの音や声あまり入らないように机を話すなどの環境を整える。 ・声の大きさボードを提示しておき、適当な大きさをその都度伝える。 ・目標数と出来高表を手元に置き確認しながら活動を進める。 ・日程表や手順表などを目に入るところに提示し、自分で確認できるようにする。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・手先が器用で集中して活動に取り組むことができるが、まわりの様子を見て、行動することが難しい時がある。 ・手順通りではなく自分のやり方で進めることがある。 ・自分の分担の活動が終わっても報告をすることが難しい。 ・見通しをもつことができると自信をもって活動に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日直の号令に合わせて活動の開始し、終了することができる。 ・決まった方法で製品づくりを進めることができる。 ・活動が終わったら教師に報告することができる。 ・1日の目標数の活動を終わることができる。 ・「校内販売」に向けてひとりひとりが自分の仕事に責任をもって目標数の製品づくりを行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日直にも大きな声で号令をかけるように言葉をかけておく。また「日直が話しているよ」など、注目できる言葉をかける。 ・はじめは教師と一緒に手順を確認しながら進めるようにする。徐々に支援を減らし、自分で活動を進められるようにする。 ・日程表や手順表などを目に入るところに提示し、自分で確認できるようにする。

<p>C</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・説明をしたあとに、教師の手本を見ながら製品づくりをすることができる。 ・報告する声が小さかったり、報告せずに待っていたりする。 ・見通しをもつことができると自信をもって活動に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・牛乳パックを正しい方向で組み立てることができる。 ・がたつくことなく、バランス良く組み立てることができる。 ・分担の活動が終わったら教師に報告することができる。 ・1日の目標数の活動を終えることができる。 ・「校内販売」に向けてひとりひとりが自分の仕事に責任をもって目標数の製品づくりを行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標数と出来高表を手元に置き確認しながら活動を進める。 ・日程表や手順表などを目に入るところに提示し、自分で確認できるようにする。 ・活動のはじめに分担の活動が終わったら報告をするように伝えておく。 ・報告せずに待っているときは、「終わったらどうするの?」や「報告は?」など気づきやすい言葉をかける。 ・目標数と出来高表を手元に置き確認しながら活動を進める。 ・日程表や手順表などを目に入るところに提示し、自分で確認できるようにする。
----------	---	---	---

(4) 評価

- ・自分の仕事が目標数に達したかどうか
- ・自分の仕事に集中して時間いっぱい取り組むことができたか。

<A>

- ・安全に気をつけて製品づくりに取り組むことができたか。
- ・静かに集中して取り組むことができたか。
- ・正確に決まった大きさに牛乳パックをカットすることができたか。

- ・正確に和紙とふち紙を貼り付けることができたか。
- ・和紙の貼りはじめと貼り終わりをまっすぐに揃えることはできたか。
- ・自分の仕事が終わった時に教師に報告することができたか。

<C>

- ・牛乳パックを正しく組み立てることができたか。
- ・がたつくことなく、バランスよく組み立てることができたか。
- ・自分の仕事が終わった時に教師に報告することができたか。

<全体>

- ・生徒にわかりやすい提示（日程表・出来高表）ができたか。
- ・生徒がスムーズに製品づくりを行うことができるような声かけを行うことができたか。
- ・生徒が見通しをもつことができる活動内容であったか。

6. 展開図

